

「平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

栃木県教育委員会

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査対象

- (1) 小学 5 年生、特別支援学校小学部 5 年生、義務教育学校前期課程 5 年生
- (2) 中学 2 年生、中等教育学校 2 年生、特別支援学校中学部 2 年生、義務教育学校後期課程 2 年生
ただし、特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状況等を考慮して、参加の是非を判断。

平成 30 (2018) 年度調査の参加学校数、児童生徒数 (栃木県)

調査学校数 533 校 (小学校 : 368 校 中学校 : 165 校)

調査児童生徒数 33,196 人

小学生 : 16,998 人 (男子 : 8,732 人、女子 : 8,266 人)

中学生 : 16,198 人 (男子 : 8,399 人、女子 : 7,799 人)

3. 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

○実技に関する調査

【小学校 8 種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校 8 種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走 (男子 1500m、女子 1000m)、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※中学校は持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択して実施

○質問紙調査 (運動習慣、生活習慣等)

(2) 学校に対する調査

○質問紙調査 (子供の体力の向上に係る学校の取組等)

(3) 教育委員会に対する調査

○質問紙調査 (子供の体力の向上に係る施策等)

※調査結果の概要における栃木県と全国の値は、公立学校を対象とした値である。

4. 調査結果の概要

(1)実技に関する調査【体力・運動能力の状況】

○体力合計点

小5女子は全国平均値を上回った。一方、小5男子・中2男女は全国平均値をわずかに下回った。また、小5・中2男女全てで昨年度の本県結果を上回った。さらに、中2女子は本県の過去最高となった。

○調査対象学年の特徴

(1)小学5年生

・男子

反復横とび、20mシャトルランは全国平均値を上回り、ボール投げはわずかに下回った。長座体前屈、立ち幅とびは低く、その他の種目においてはほとんど差がみられなかった。

・女子

握力、反復横とび、20mシャトルラン、ボール投げは全国平均値を上回り、長座体前屈、立ち幅とびはわずかに下回った。その他の種目においてはほとんど差がみられなかった。

(2)中学2年生

・男子

握力、反復横とびで全国平均値を上回り、ボール投げはわずかに下回った。長座体前屈、立ち幅とびは低かった。その他の種目においてはほとんど差がみられなかった。

・女子

握力、反復横とび、20mシャトルランは全国平均値を上回り、長座体前屈はわずかに下回った。その他の種目においてはほとんど差がみられなかった。

図1【体力合計点の推移】

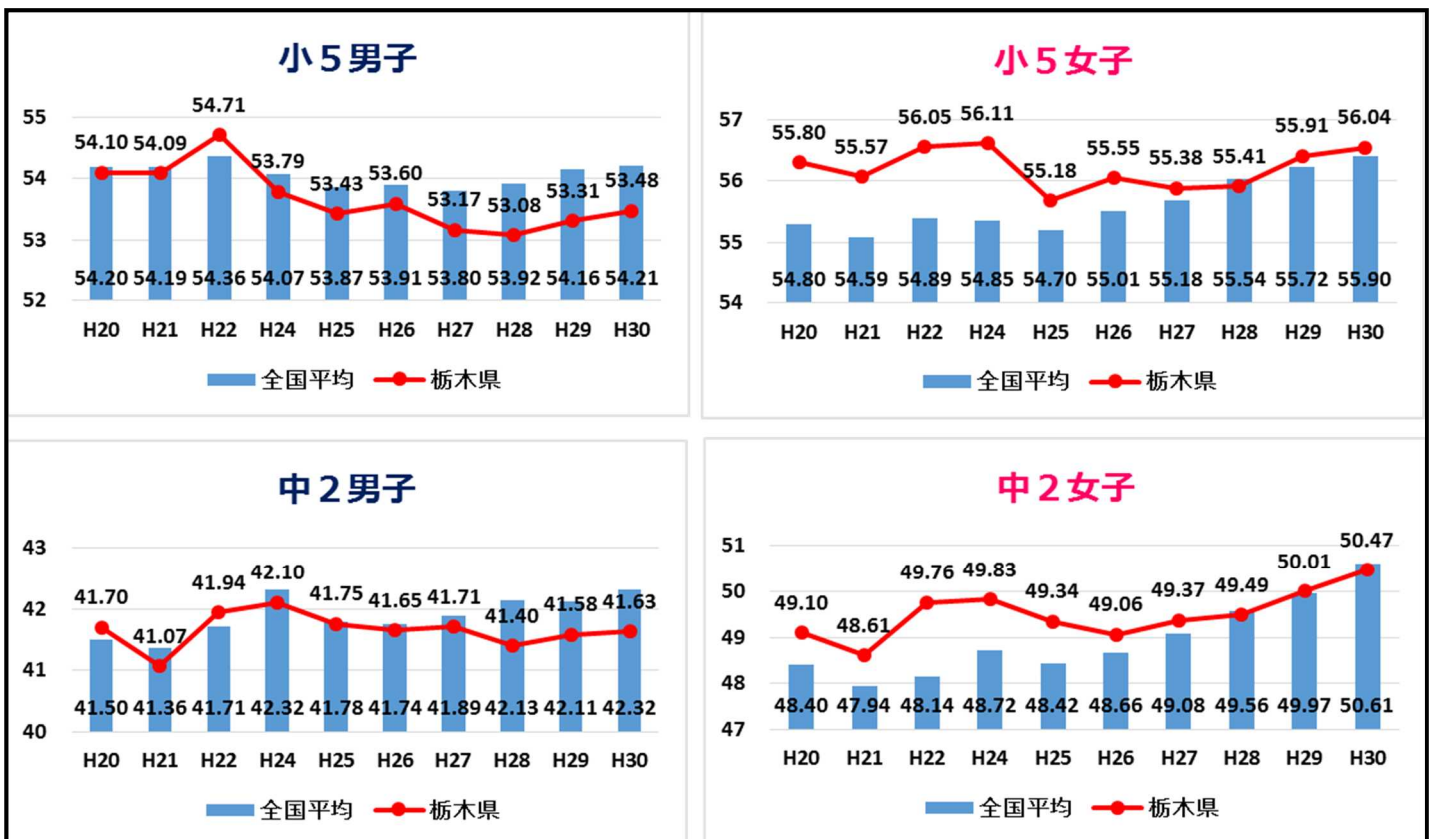


表1【平成30(2018)年度各種目別の状況】

※網掛けは全国平均より高い

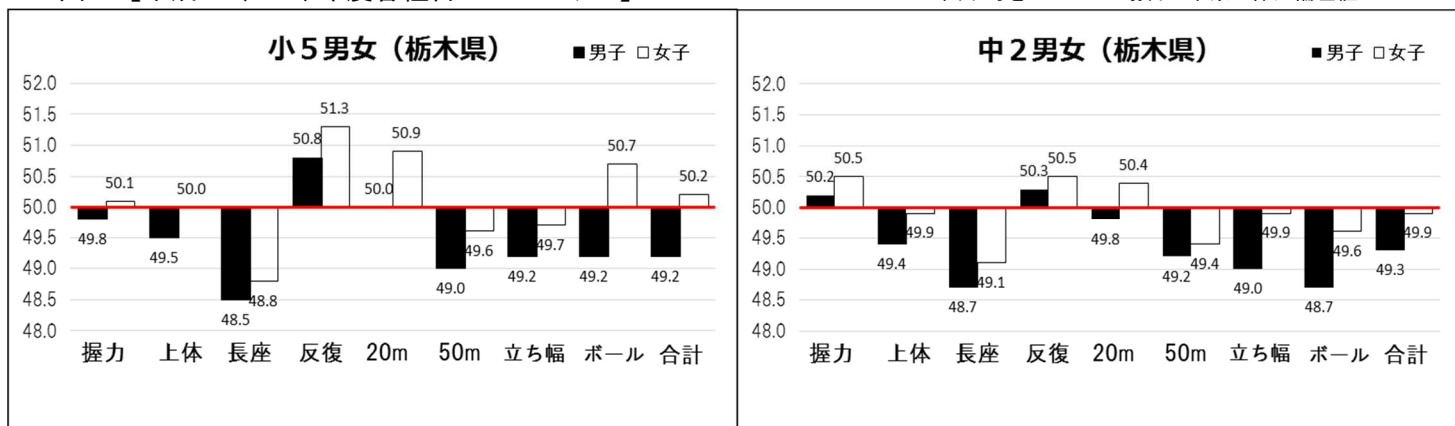
種目	小5				中2			
	男子		女子		男子		女子	
	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国
握力(kg)	16.45	16.54	16.20	16.15	28.95	28.84	24.08	23.87
上体起こし(回)	19.65	19.95	18.94	18.96	27.00	27.36	23.80	23.87
長座体前屈(cm)	32.10	33.31	36.65	37.62	42.10	43.44	45.28	46.22
反復横とび(点)	42.75	42.10	41.29	40.32	52.51	52.24	47.68	47.37
20mシャトルラン(回)	52.17	52.15	43.33	41.88	85.57	86.06	60.65	59.87
50m走(秒)	9.46	9.37	9.64	9.60	8.05	7.99	8.83	8.78
立ち幅とび(cm)	150.47	152.24	145.23	145.94	192.94	195.62	170.00	170.26
ボール投げ(m)	21.47	22.15	14.11	13.77	19.80	20.55	12.81	12.98
合計点	53.48	54.21	56.04	55.90	41.63	42.32	50.47	50.61

※50m走は、値が小さいほど記録が優れている。

※ボール投げは、小学生がソフトボール、中学生がハンドボールを用いる。

図2【平成30(2018)年度各種目のTスコア※】

※全国平均を50とした場合の本県の体力偏差値



(2) 質問紙調査

○質問項目

小学校・中学校ともに34項目

○質問紙調査(抜粋)

項目の多くで全国平均と同等または肯定的回答が上回っている。特に「授業で十分に体を動かしている」「体育授業で学んだ内容は将来役に立つ」「最後までやりとげてうれしかったことがある」「失敗を恐れないで挑戦している」「自分には、よいところがあると思う」について回答した割合が、小5・中2男女全てにおいて全国平均と比べ高い。また「体育授業で振り返る活動をしている」「体育授業で動きを撮影して活用する活動をしている」については、全国平均と比べ、小5の回答において低い傾向にある。

表2【平成30(2018)年度質問紙調査(抜粋)】

※網掛けは全国平均より高い

質問	小5				中2			
	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国
1 授業で十分に体を動かしている	73.3%	70.6%	66.0%	59.3%	59.3%	57.9%	60.1%	53.9%
2 体育授業で振り返る活動をしている	25.4%	33.2%	21.7%	31.3%	43.6%	43.4%	46.8%	45.1%
3 体育授業で動きを撮影して活用する活動をしている	6.2%	7.1%	4.1%	5.2%	10.0%	10.1%	8.6%	8.5%
4 体育授業で学んだ内容は将来役に立つ	58.1%	49.9%	50.1%	40.1%	42.0%	40.6%	30.9%	29.7%
5 最後までやりとげてうれしかったことがある	77.8%	73.5%	79.3%	75.6%	73.7%	73.4%	77.4%	75.4%
6 失敗を恐れないで挑戦している	51.2%	46.4%	42.3%	38.2%	45.0%	41.2%	34.4%	30.5%
7 自分には、よいところがあると思う	48.7%	44.5%	40.6%	36.4%	40.2%	36.4%	27.7%	22.8%

「平成 30(2018) 年度栃木県児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について

栃木県教育委員会

1 調査概要

(1) 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

(2) 対象

県内全ての公立小・中学校、義務教育学校及び県立高等学校（全日制・定時制）を調査した。標本数は小学校 96,217 名（男子 49,399 名・女子 46,818 名）中学校 46,969 名（男子 24,086 名・女子 22,883 名）高等学校 34,894 名（男子 17,058 名・女子 17,836 名）であった。

(3) 実施期間

平成 30(2018)年 5 月～7 月

(4) 内容

スポーツ庁「新体力テスト実施要項」により新体力テストを実施した。なお、中学・高等学校で選択種目となる持久走と 20m シャトルランは、後者のみを対象とした。

種目	体力評価	基礎運動能力評価	測定概要
握力	筋力	—	計器による握力測定を行い、左右平均値を kg 単位で算出する。
上体起こし	筋力 筋持久力	—	仰臥姿勢（あおむけ）から上体を起こす動作が 30 秒間に何回できるかを測定する。
長座位前屈	柔軟性	—	長座位姿勢から上体を前屈した時の柔軟性を cm 単位で測定する。
反復横とび	敏しょう性	—	1 m 間隔の 3 本のラインをサイドステップで左右に反復し、20 秒間内でラインを通過した回数を数える。
20m シャトルラン	全身持久力	—	速度が段階的に増加する信号音に合わせて、20m 間往復の持続走を行い、反復可能な回数を数える。
50m 走	スピード	走る	50m を走る時間を 10 分の 1 秒単位で測定する。小学生はスタンディングスタート、中学・高校生はクラウチングスタートにより行う。
立ち幅とび	筋パワー	跳ぶ	立位姿勢から両足踏み切りで前方へ跳躍した距離を cm 単位で測る。
ボール投げ	巧ち性 筋パワー	投げる	原則としてオーバーハンドスローにより、小学生はソフトボール、中学生はハンドボールを用いて遠投距離を m 単位で測る。

出典「新体力テスト 有意義な活用のために」文部省 平成 12 年（測定概要を独自追記）

※ これらの 8 種目を、それぞれ定められた基準により 10 点満点で評価した得点の合計を「体力合計点」とする。（80 点満点であり、性別・学校種別で基準が異なる。）

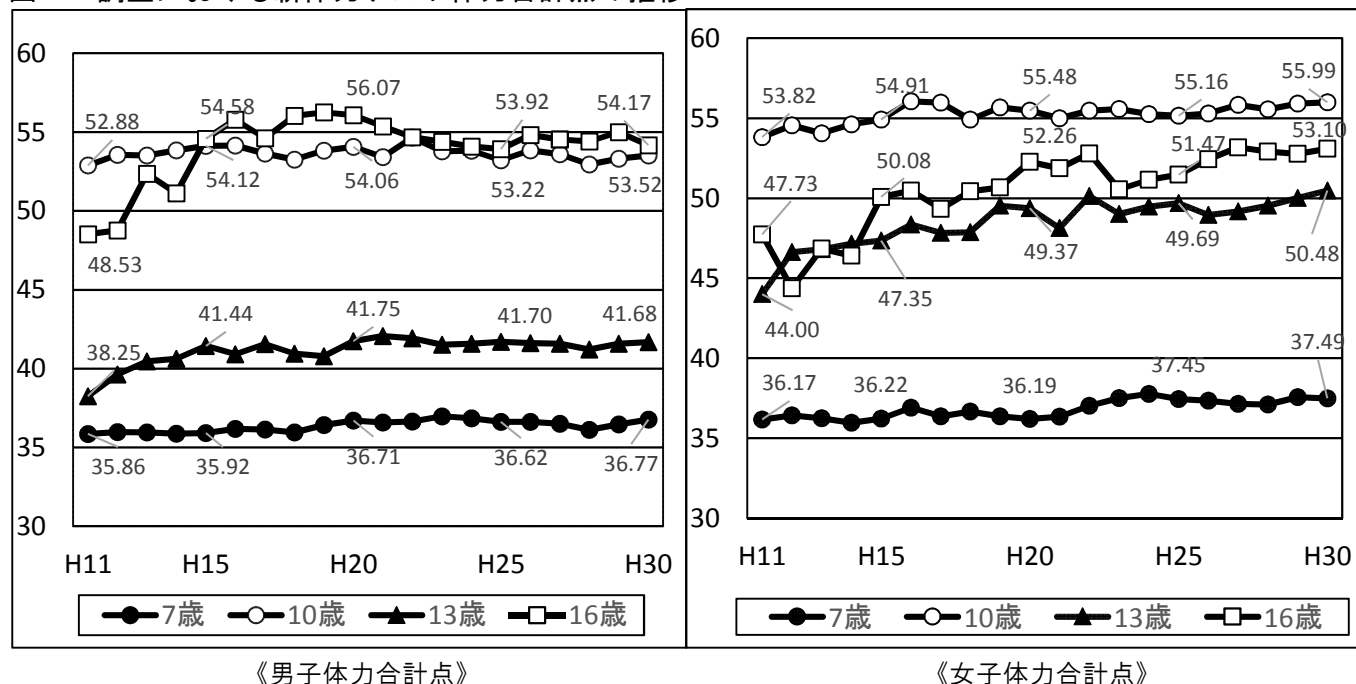
2 結果概要

(1) 調査実施後の20年間（平成11(1999)年～30(2018)年度）における体力合計点の推移

ア 男子は、近年においてほぼほとんど変化（差）がみられない。

イ 女子は、おおむね緩やかに向上する傾向がみられる。

図1 調査における新体力テスト体力合計点の推移



(2) 調査実施後の20年間（平成11(1999)年～30(2018)年度）における平成30(2018)年度の傾向

ア 男子は、反復横とび（敏しょう性）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（走能力）について上位となった学年がある。

イ 女子は、握力（筋力）、ボール投げ（投能力）以外で上位となった学年が多い。

ウ 男女ともに握力（筋力）、ボール投げ（投能力）については、多くの学年で下位となった。

表1 調査実施後の20年間（平成11(1999)年～30(2018)年度）における平成30(2018)年度の傾向

		小学校					中学校			高等学校(全日制)			高等学校(定時制)				
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	15歳	16歳	17歳	18歳
男子	握力		▲	▲	▲		▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	上体起こし													▲			
	長座体前屈		○														▲
	反復横とび							○	○	○			○		○	○	
	20mシャトルラン	○	○										○	▲			
	50m走		○	○					○	○	○		○		○	○	
	立ち幅とび									○	▲			▲			▲
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
合計点		○											▲			▲	
女子	握力		▲		▲	▲	▲	▲	▲							▲	
	上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○		○
	長座体前屈		○			○			○	○	○		○	○	○		
	反復横とび			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20mシャトルラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m走			○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○
	立ち幅とび			○			○	○	○	○	○	○					○
	ボール投げ	▲	▲		▲	▲	▲				▲	▲	▲				▲
合計点	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○ …過去20年間で今年の平均値が上位3位以内に入った種目

▲ …過去20年間で今年の平均値が下位3位以内に入った種目

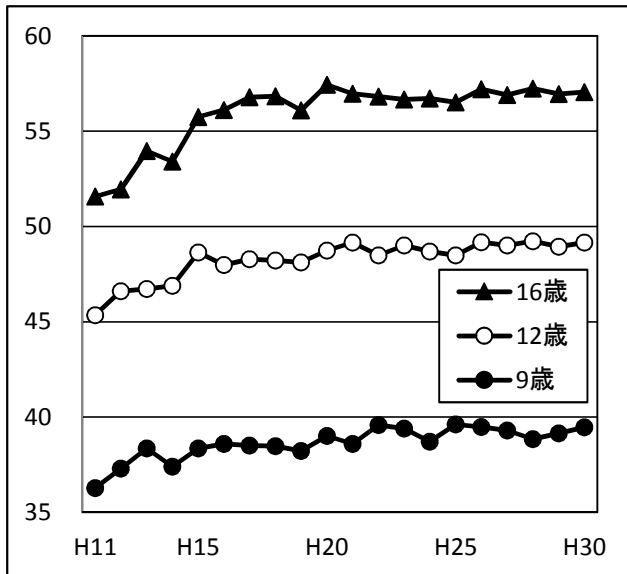
(3) 調査における各発達段階、種目の平均値の推移

ア 反復横とび（敏しょう性）、20mシャトルラン（全身持久力）については、男女ともに緩やかに向上する傾向がみられる。

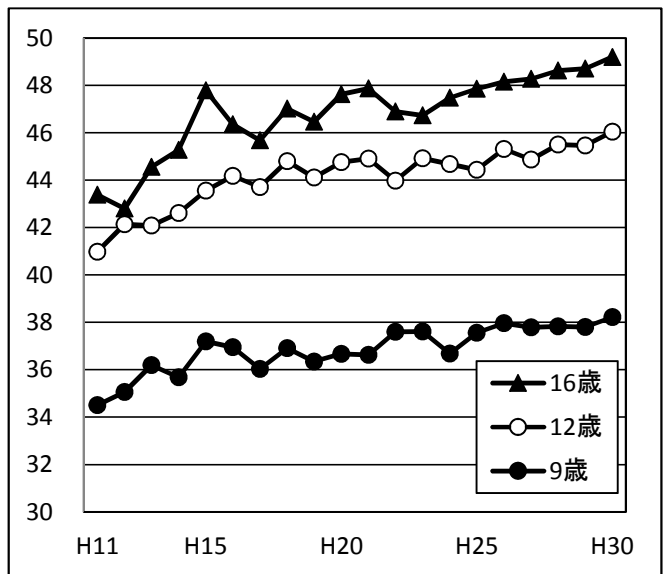
イ 握力（筋力）、ボール投げ（投能力）については、男女ともに低下する傾向がみられる。

《ゆるやかに向上している種目の例》

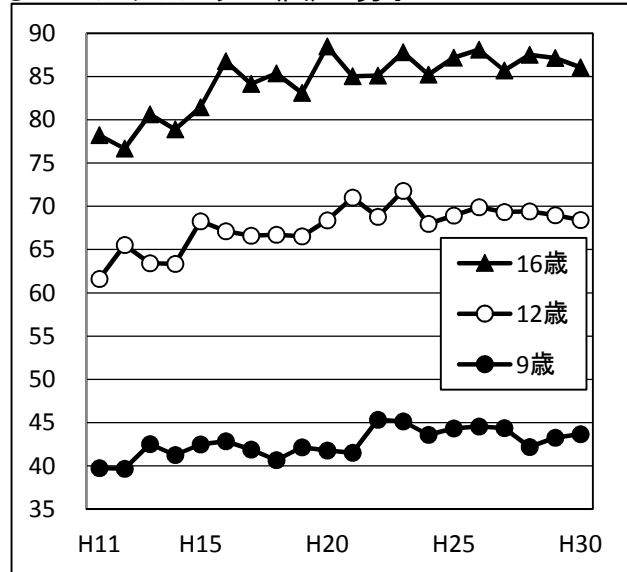
○ 反復横とび(回) 男子



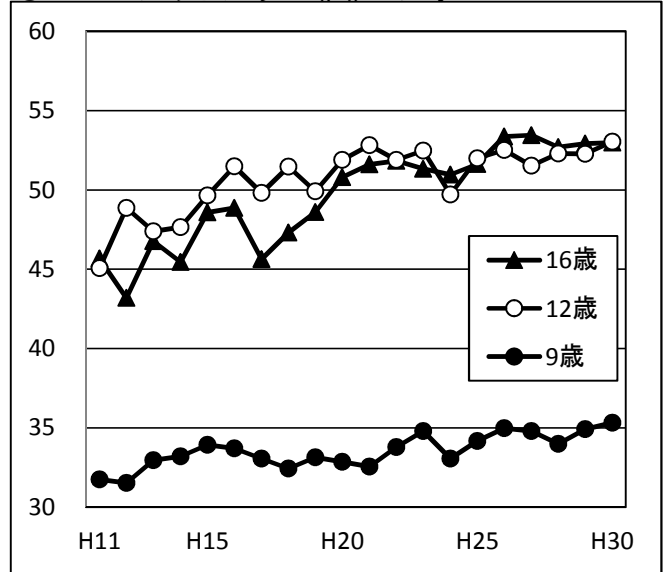
○ 反復横とび(回) 女子



○ 20mシャトルラン(回) 男子

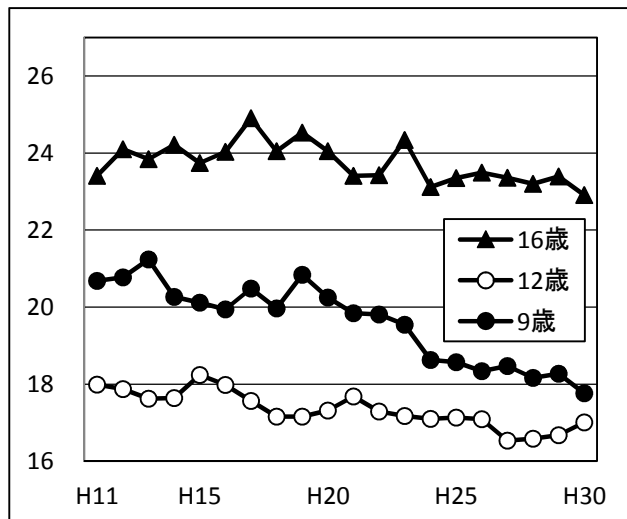


○ 20mシャトルラン(回) 女子



《低下傾向にある種目の例》

● ボール投げ(m) 男子



● 握力(kg) 女子

